



支援部だより



埼玉県立川口特別支援学校：支援部

令和7年3月13日発行 No. 5

<今年度の活動を振り返って>

*支援部では、

「校内の子どもたちが安心して学校生活や地域での生活を送れるようにすること」

「地域の特別支援教育のセンター的機能としての役割を果たすこと」

これらを大きな2つの目的として、今年度も活動を進めてきました。対応の詳細については、3月末に本校ホームページ上でもご報告しますので、ぜひごらんください。



校内支援

☆学習・指導支援として…☆

外部講師の5名の先生方（臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士）にアドバイスをいただきながら、個別の指導計画に基づく指導に活かせるように取り組みました。（支援件数のべ172件、3月末まで）

☆生活・家庭支援として…☆

福祉や医療など関係機関と連携し、必要に応じて支援会議を開催するなどしながら、ご本人を支える取組を行ってきました。家庭よりご相談を受け、関係機関の方に相談をつなげたケースもありました。

地域支援

☆センター的機能による教育相談☆

学区内（川口市・蕨市）の、幼・保小中学校、高等学校の先生方や保護者様からの要請により、多くの教育相談をお受けすることができました。電話やオンラインでも相談をお受けすることができました。

※対応：42校（園）のべ334件、訪問回数132回（12月まで）

3月までの対応については3月末に本校ホームページにてご報告します。

☆支援籍学習☆

小学部17名、中学部4名について、支援籍学習を実施することができました。

居住地の学校で学習する直接交流や、手紙等の間接交流を行うことができました。（裏面に支援籍学習について掲載します。）

☆公開講座☆

8月8日にオンラインで開催しました。綿貫愛子先生を講師とし、「自分らしく生きることを支える教育や支援」をテーマに学びました。

小・中学校、県内特別支援学校等の先生方をはじめ、地域の行政機関担当者、療育担当者等、多くの方にご参加いただきました。

☆ボランティア☆

8月に養成講座、9月に体験を実施し、本校ならびに障害児者への理解を拡げました。講座後には、本校でのボランティアとして活動いただいています。

（登録いただいているボランティアの皆さま 32名、活動数のべ162件※2月末まで）

いつもありがとうございます



今後も、地域の特別支援教育に関するセンターとしての役割を發揮していけるよう、支援部としての取組を充実させていきます。

つなぐ” “ささえる”

支援籍学習を行いました

今年度も保護者の皆様や支援籍校の先生方の御理解と御協力をいただきながら、直接交流や間接交流での支援籍学習を実施することができました。誠にありがとうございました。保護者様、支援籍校の先生方からいただいた御感想を掲載いたします。また、校内の職員室前掲示板にも支援籍学習の様子について掲示をしておりますので、ぜひ御来校の際にご覧ください。



保護者様より

- ・支援籍学習を実施して、最初は緊張して固まってしまいましたが、次第に、支援籍クラスの子たちと馴染めて交流することができてよかったです。（小学部）
- ・中学部に入って初めて通常学級での支援籍学習だったので不安や心配な面もありましたが、事前に担任の先生やお世話になるクラスの先生との顔合わせや打合せを行っていたことから当日は息子も私も安心して参加することができました。授業内容も、息子の成長に合わせて考えてくださったので、笑顔も見られ、新しいことに挑戦する姿や普段の学校とは違い、大人数のまえても緊張することなく充実した時間を過ごすことができました。自分の気持ちを相手に伝えることが難しくても、みんな息子のペースに合わせて、一生懸命コミュニケーションをとってくれた姿に感動しました。（中学部）



支援籍校の先生方より

- ・こういった機会は、通常学級の児童においても、人との接し方として大切なことを学べると思うので貴重だと思いました。（川口市内小学校）
- ・通常学級の児童にとってもすごく新鮮で楽しいと思える交流になったと思います。また、このような機会をいただけるときは、ぜひお願いします。（川口市内小学校）
- ・このような機会はお互いのためになると思うので、もっと気兼ねなく交流できる機会がもてたらなと思います。（川口市内中学校）

